

## 第20期生(1年生)の授業

## いよいよ！実習棟 建方・上棟です！

1月22日(金)・23日(土) 江東実習場にて。見学歓迎！



「本物の家」を伝統構法でつくりあげる実習棟実習は、建築カレッジの教育実践の大きな特色であり、建築教育の世界で高く評価されてきました。現在の木造軸組み在来工法とは大きく違う、伝統

東京建築カレッジでは、日本の気候風土と文化が育んだ木造伝統構法による「本物の家づくり」を体験できます。1年生の授業は、図面、墨付け、刻みの実習を経て、いよいよ建方・上棟。1年間のカリキュラムの中で、いちばんの見どころです。（写真は、15年1月に行われた第19期生の「建方・上棟」）

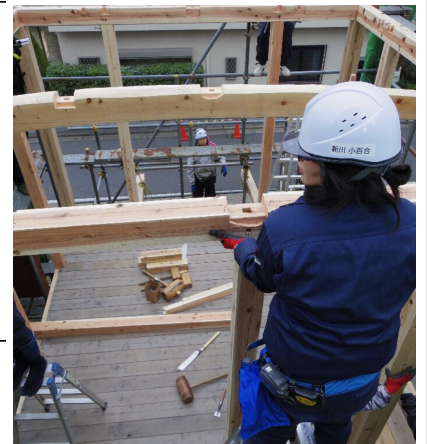
## カレッジ通信

発行  
東京建築  
カレッジ第21期生  
第4回  
応募締切  
1月28日

◇ 実習棟実習は、先輩が建方・上棟した実習棟の解体実習を2日間実施した後、10月上旬開始。十数回の授業を行っていきます。①図板書き、尺杖づくり、②墨付け、③刻み、④仮組み、⑤建方、上棟、という流れです。1年生は、日本が世界に誇る大工技術の奥深さを実感しながら、クラスメ

構法（貫構法、大黒柱構法）による実習棟であり、全国的にも貴重な実践となつていきます。第一線で活躍する大工である先生方に、指導されながら建方・上棟※に挑戦するのは1年生です。

イトと協働して、一つの家をつくりあげるのです。カレッジは建設業で働いていることが入学の条件ですが、就労が入学と同時に研修生、つまり未経験者は少なくありません。それでも、道具の使い方を一から教わり、継手・仕口づくりの課題を着実にこなしていくと、ものづくりの喜びがわかってきます。入学前から大工として仕事してきた研修生も、普段はプレカットされた材料を



組み立てる作業が大半です。授業から、授業の展開は全員が新鮮に受け止めるものとなっています。

◇ 建方・上棟は建築カレッジの実践教育の象徴とも言えるべき教育プログラムです。入学以来の学習の蓄積、チームワークの到達点をぜひ、ご覧ください。

## 専門用語

・建方 たてかた

建築の現場において構造部材を組み立てること。木造住宅では土台の据え付けから始まり、柱、梁、小屋組の棟（むね）上げまでの作業工程をいう。

・上棟 じょうとう 「棟上式」「上棟式」「建前」ともいう。新築への祝福とその守護を祈願するために行う儀式。

## 2016年度・第21期入学生 第4回募集

- ◇学校説明会 1月20日(水)  
午後2時・午後7時の2回
- ◇応募締切 1月28日(木)
- ◇試験日 2月 3日(水)  
※いずれも池袋校舎にて
- ◇建方・上棟 見学会  
1月22日(金)・23日(土)  
※江東実習場にて

授業は、毎週金曜・土曜日。ご都合に合わせて見学できます。（要事前予約）

※応募方法、入学試験などについては、お気軽に資料をご請求ください。

Tel03-5950-1771 教務 西岡、吉川

## 「床の間 班」



## 「別荘の設計 班」



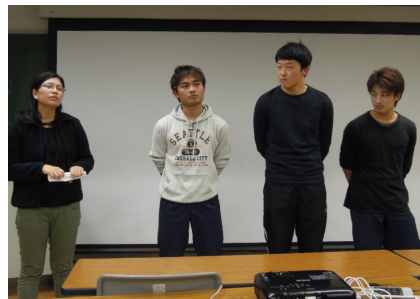
## 「水車小屋 班」



## 「行灯（あんどん）班」



## 「入母屋屋根 班」



## 12月26日（土）プレ発表会！

すべての班がベストを尽くせたプレ発表会でした。1年生の一部や先生方からプレゼン内容に対し、鋭い質問も飛び出し、完成作品はないものの、本番さながらの雰囲気になりました。「本番がすごく楽しみ!」。そんな声が相次いでいました。

## 「卒業制作」に燃える2年生！

発表会は2月21日（日）

2年生は卒業前に二つの関門をクリアしなければなりません。「技能照査試験（実技・学科）」と「卒業制作」です。卒業制作は、2年生

の4月から始まる卒業制作ゼミで計画を練り、翌年2月の完成・発表に向けて、グループまたは個人で作業を進めてきました。

12月26日（土）、年内最後の授業日に、学校長、講師・指導員、事務局長、教務部長、1年生を前に「卒業制作プレ発表会」が行われました。

Ⅱ左写真。プレ発表ですが、大勢の前で、テーマや問題意識、設計やデザイン、素材や工法、工程を理路整然と説明しなければなりません。ほぼ徹夜で臨んだ班もありました。

発表会まであと一ヵ月半。時間とのたたかいです。

卒業制作発表会は、2月21日（日）午後、池袋校舎で開催します。観覧ご希望の方は、お気軽にご連絡ください。カレッジ教育の値打ちを実感していただけます。

## カレッジ生インタビュー！20期生 別井大樹さん（19歳）カレッジへの興味から建設業に



バイト先の知人の親から、建築カレッジのことを聞き、入学のために建設業で働くことを決意しました。木を刻んで家をつくる仕事に興味がありました。今お世話になっている水道工事会社の社長には通学を応援してくれて本当に感謝しています。授業は難しいですが、橋本英夫先生のように、めっちゃ分かりやすい！と感じるものもあります。それから、クラスメイトの影響もあり、競技大会に挑戦したくなってきました。今年は「四方転び踏み台」を課題とする青年技能競技大会に挑戦するつもりです。

技能五輪大会  
浅見拳太さん  
敢闘賞を受賞

12月上旬に開催された「第53回 技能五輪全国大会」の「建築大工」部門でカレッジ卒業生（第18期生）の浅見拳太さんが敢闘賞を受賞しました。敢闘賞の名前の並び順などから全体では11位と見られています。東京土建の機関紙「けんせつ」紙上で、浅見さんは「今度は金を取る」と宣言しました。次回の金賞受賞者は技能五輪国際大会に日本代表選手として参加します。応援しましょう。

## 訂正

前号で、技能五輪大会を「厚生労働省、中央職業能力開発協会が主催する最高峰の競技大会」と書きましたが、最高峰の競技大会は「技能グランプリ」でした。訂正します。